2025 年 11 月 28 日　第 3534 回例会

於：　横須賀商工会議所

＜点鐘・開会＞　１２：３０　山　下　会長
＜斉　　唱＞　「それでこそロータリー」
＜委員長報告＞　＊横須賀ＲＣゴルフ会：勝見会長よりゴルフコンペ及び
地区大会ゴルフコンペ報告
＊国際奉仕委員会：加藤（敦）委員長よりチトワン RC 祝賀会/懇親会/釣り報告
＊インターアクト委員会：杉浦副委員長よりインターアクト年次大会報告
＜幹 事 報 告＞　＊例会終了後第５回理事役員会開催（例会場）
＜出 席 報 告＞　＊出席委員会　浅葉会員から１１月２８日の出席報告

会　員　数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠　席　数	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	出　席　率
１１４名	１０４名	６６名（３名）	３８名	１０名	73.08%

メークアップ：池田、柴田、鈴木(之)、高橋(岐)、竹株、物井　各会員　親睦旅行参加
小保内会員　地区委員会出席　植田、加賀本、齋藤(眞)　各会員　ポリオ募金活動参加

＜ニコニコ報告＞

・岡田㈱　会員　誕生月祝いとして
・杵　渕、臼　井　両会員　入会月祝いとして
・三　　役　三井会員、本日の卓話宜しくお願いいたします。ベールに包まれた三井さんの人となり、興味津々楽しみにしております。
・小　澤、西　村、大野㈱、堀　川、梶　木、真　野、浅　葉、伊　藤、梁　井、田　中、井　上、松本㈱、江　口、前　田、岡田㈱、角　井、新　倉、杉　浦、澤　田、吉田㈹、森、髙橋㈱、齋藤㈱、根　岸、小山㈱、石　川、杵　渕、田　邉、八　木、川　名、萩　原、齋藤㈱、三　堀、八　巻、飯　塚　各会員
本日は三井英夫会員による新会員卓話です。とても楽しみにしています。よろしくお願いいたします。
・三　井　会員　本日の卓話よろしくお願いします。つたない話ですが自己紹介させて頂きます。
・加藤㈱、佐久間、権　田、角　井、長　尾、髙橋㈱、藤　村、五十嵐、勝　見、萩　原、小林㈠、八　巻　各会員
国際奉仕委員会を始めとする皆様、チトワンロータリークラブへの対応は本当にお疲れ様でした。今後は給水事業を始めとする様々な交流が始まります。クラブを上げて応援していきましょう。
・小山㈱　会員　杉浦さん、インターアクト年次大会の報告を本日はよろしくお願いします。申し訳ありません。
・渡　邉、谷　両会員　伊藤千衛氏、お久しぶりです。お元気そうで安心しました！！
・伊　藤　会員　ひ孫が誕生。久し振りの例会です。皆様も健康に気を付けて下さいネ。
・臼　井　会員　長らく出席できていなくて申し訳ありません。体調も良くなってきたので、これから少しずつ出席を増やしていきたいと思います。
・石　田、小山㈱、笠　木、上　林、髙橋㈱ 各会員
大相撲・安青錦関、九州場所の優勝と大関昇進おめでとうございます。ウクライナ出身と母国で戦禍が続いているなか歓喜に沸く嬉しいニュースです。今後の活躍に期待をします。

＜新会員卓話＞　　**三　井　英　夫　会員**

皆さん、こんにちは。横須賀共済病院で事務部長をしております三井と申します。本日は新会員卓話のお時間を頂き誠にありがとうございます。自分のことを紹介させて頂きたいと思います。私が横須賀共済病院に転勤してきたのは昨年の令和６年４月になります。ロータリークラブには２か月後の６月に入会させて頂きました。以前は病院長が会員だったようですが、業務が忙しくなり、代わりに事務部長が入会させて頂いたと聞いています。事務部長としては私の前任から入会させて頂き、私で２代目となります。ちなみに、私は、昨年に転勤してくるまでは千代田区にある法人の本部に勤めており、これまで転勤で単身赴任もしてきましたが、横須賀、もっと言えば神奈川県で働くことは初めてです。ですので、この地域のことはまだまだ知らないことが多いですし、親の介護の関係で休日の行事にも参加できず申し訳なく思っております。改めて自己紹介しますと、私は世田谷区で生まれ育ちました。等々力という所で、東急大井町線で自由が丘と二子玉川との中間位の所です。あまり有名な所はないのですが、近所に「等々力渓谷」という東京２３区唯一の渓谷があり、子供の頃はよくここで遊んでいました。ただ、江戸っ子ということではなく、父は長野県、母は福島県の出身で、たまたま２人が東京で結婚して住んだ場所が現在の所だったということで、なんと、当時、土地は２００万円で購入したそうです。若く見えますが、昭和４２年生まれなので今年５８歳になります。家は１０年程前に二世帯住宅に建て直して、私の世帯、共働きで子供は今年大学生になった娘との３人家族ですが、その隣で自分の親の世帯が暮らしています。玄関は一つで、入ると左右に分かれるのですが、今年の夏に父が９０歳で亡くなり、現在は母が１人となっています。母も大分物忘れが多くなり一人で置いておくのは心配なのですが、日中は犬と一緒に散歩や、駐車場を畑にして野菜作りなどして過ごしてもらっています。私が横須賀に転勤になる前、家に泥棒が入って通帳や印鑑など大事なものが全部なくなったと母が警察を呼んで近所を巻き込んで大騒ぎになったことがありました。自分は、玄関を開けたまま買い物に行く母が悪いと言ったのですが、母は母で「福島で玄関閉める家はない」と主張し、結局、母の希望で番犬が必要だということになり、犬を飼うことになりました。今の時期は母の家のコタツからなかなか出てきませんが、チワワの習性で知らない人が来ると鳴きやまないので、番犬にはなっているようです。ただ、母の希望で飼うことになったのに、世話はできないということで、自分が朝４時に起きてやトイレの世話や餌のセットをしています。自分の家にはインコがいるので、そちらの世話もして、毎朝６時前に家を出て、病院には８時前に着いています。ちなみに、その後通帳や印鑑は全部見つかりました、というか隠した場所を忘れていただけで、警察も「高齢者には多いこと」と言っていました。この頃から母の物忘れが多くなってきましたが、父の助けもあり何とか日常生活に支障は出ていませんでした。その父も今年の夏に９０歳で亡くなったのですが、これまで大きな病気や入院もしたことがなかったのに、急に家の外で倒れて救急搬送され、意識が戻らず最後の１日だけ入院しました。父は長く区役所に勤めており、自分はよく「お前も区役所に勤めるといい」と言われていましたが、大学４年を迎える時、なんか「公務員は堅すぎるなぁ」と思い、今の所に就職しました。ちなみに、大学は吉祥寺にある成蹊大学でした。大学の就職課で卒業生の就職先を見せてもらった所、「国家公務員共済組合連合会」という所が面白そうと思い、先輩に話しを聞きに行きました。後日、大学の就職課から「内定が出たようですね」と言われ、「いや、受けてないですよ」と言ったら、「いや、内定出てるので早く受けて下さい」と言われて受けに行ったという不思議な縁でした。面白そうと思ったのは、公務員ではないけど「国家公務員の福利厚生」を目的とした事業をしており、国家公務員の年金の決定・支払とその資金運用、また、ホテル等の宿泊事業や医療事業、という大きな柱があり、宿泊と医療事業は全国展開をしてお

り、「いろんな分野で人のためになる仕事をできるのでは」と思えたからでした。なお、就職後、人事課の人に「内定が早くないですか？」と聞いたら、「公務員試験落ちそうな人には内定を早く出してる」と言われズッコケました。法人は財務省が所管する団体で半官半民のような所で、全国の職員は12, 000人程の大所帯です。平成２年に法人の本部に就職をしたのですが、当時新人２０人はすべて年金部に配置され、２年たつと必ず外に出るというルールでした。年金の勉強で社会保険庁に出向する人、大阪や北海道のホテルに行く人、また病院に行くとマチマチでしたが、自分は立川駅の近くの立川病院という所に転勤となり、そこで２年勉強し、本部の「病院部」という医療事業の部署に戻りました。それ以降は、医療事業から出ることなく、厚生省に出向したりもしましたが、ずっと本部におり、平成３０年になって仙台の病院に事務部長として放出されました。仙台の病院は東北公済病院という３６０床程の病院で、仙台駅から歩いて１５分程の国分町という所にありました。国分町は東北地方最大の歓楽街であり、実際、徒歩５分位の所から国分町の繁華街を通って出勤していましたが、夏の朝は若い女性が道端で酔いつぶれて寝ている姿を良く見かけ、病院長からは「通報されるから絶対触ったらダメだよ」と言われていました。夜の国分町はこんな感じです。とは言え、仙台勤務２年目の終盤から世の中に新型コロナウイルスというものが蔓延し始め、病院は面会禁止や出張禁止になり、国分町の町も営業休止によりゴーストタウンのようになりました。仕事面ではＷＥＢ会議などが盛んになりあまり支障はなかったのですが、新幹線禁止については、１年程東京に戻れなくなってしまい、なかなか辛かったです。やることがないので、休みの日は病院に行って病室の前に花壇を作っていました。４階の屋上に当たる部分が芝生になっていたのを勝手に全部剥がして花壇にしていまいました。こんな感じで病室の前に花が広がり評判は良かったです。今でも１年に２回程行って新しい花を植えてきています。その後、また本部に病院部の部長として戻り、３年勤めた後、昨年横須賀に転勤してきました。なお、本部には「病院部」と「旧令病院部」と２つの部署があります。両方医療事業をしているのですが、病院設立の法律が違うため２つに分かれています。病院部は全国に２２ある「直営病院」の運営をしています。これらは国家公務員の福利厚生を目的に設立された病院で、虎の門病院をはじめ、主に官庁街に設置されています。具体的には、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡などです。昔は、国家公務員とその家族が他の患者さんより先に予約をできたとかあったのですが、公務員優遇はケシカランと国会議員やマスコミから大きな批判を受け、今では誰でも公平な病院となっています。「直営病院」は戦後の国家公務員共済組合法に基づいて設立をされましたが、それ以前の法律（これを総称して旧令と言います）に基づく年金受給者等の権利義務を引き継いだ当法人が、その旧令に基づいて設立された病院の管理運営を任されているものが「旧令共済病院」となります。横須賀共済病院は、海軍工廠で働く職工さん達のために設立をされた病院で、同様の病院は、軍港だった所に多くあり、舞鶴、呉、佐世保など全国に９つの病院があります。神奈川県には他に、横浜南共済病院、横浜栄共済病院、平塚共済病院があります。以前、ヨゼフ病院の柴田院長の卓話で、ヨゼフ病院の前身が旧海軍の下士官の会である海仁会によって建てられた病院とのお話しがありましたが、横須賀共済病院とは親戚のような関係だったのかと初めて知りました。事務部長とはどんな仕事をしているのか一口で説明するのは難しいのですが、基本的には収支のバランスを取って経営を安定させ、病院の運営に必要な契約や医療機器の整備を行いながら、地域医療と職員の生活を守るため様々な調整をする、ということと思っています。病院の中では珍しく国家資格がない職種ですので、医師・看護師その他多くの職種からの信頼がないと事務職は活躍できません。今では、病院の業務改善や収支改善に事務員の企画力が非常に重要だと世の中に浸透していますが、昔は事務職が発言すると「事務ごときは黙ってろ」とよく言われました。法人の中で度々三役会議というのが開催されますが、病院長、看護部長、事務部長の三役の連携が運営の要ということで、昔に比べ事務の地位が見直されてきていると感じています。横須賀共済病院は、職員が1, 600人程で、医師は約２５０人、看護師は約８００人、事務は約２３０人、他にも多くの職種がおり、職員以外にも委託業者さんも多く働いています。院内で様々な調整をする時には、ロータリーの４つのテストにあるように「みんなに公平か」「患者さんと職員みんなのためになるかどうか」ということをよく考えています。最後に横須賀共済病院のことをお話ししますと、救急車の受入れ件数は年間約14, 000件で全国第３位ですが、皆さんご存じのとおり、古くて迷路のようになっています。一番古い建物は昭和１２年の建物です。建替を計画しているのですが、昨今、建築業界の人手不足や資材高騰により、なかなか建築会社が見つかりません。昨年度は２回入札公告を出したのですが、入札に参加する業者はゼロでした。今月３回目の入札公告を出していますが、ゼネコンさんからはまだ難しいと言われています。皆様にお知り合いの建築業者さんがあれば、

「そろそろ横須賀共済病院の建替に参加してみたら」とそっと囁いて頂けると大変ありがたいです。拙い話しでしたが、ご清聴ありがとうございました。以上で終了いたします。

＜閉会・点鐘＞　１３：３０　山　下　会長

週報担当　岡　田　圭　太